

尾鷲市の概要

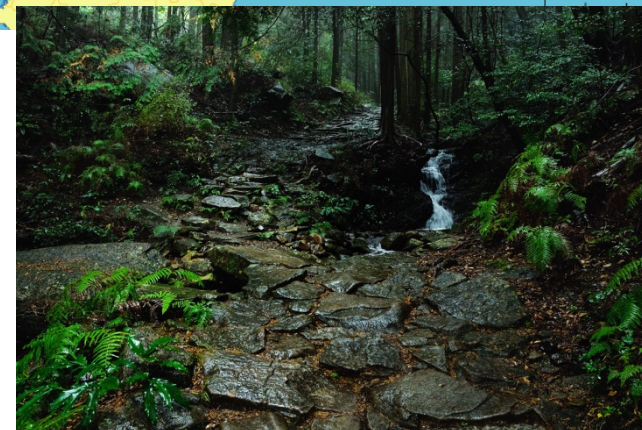
- 【人口】 20,587人（3月1日現在）
- 【面積】 193.16平方キロメートル
- 【地勢】 総面積の90%が山林で覆われ、平坦地が極めて少なく集落は湾奥に位置しています。

【概要】

尾鷲市は、三重県南部の東紀州地域の中央部に位置し、西は大台山系を境に奈良県に接し、東は太平洋（熊野灘）に臨んでいます。海岸線は、典型的なリアス式海岸で南北の直線距離はわずか19kmであるが、その延長は約100kmにも達し、尾鷲湾をはじめ多数の湾が入りくみ、自然の良港を形成している。

また、いにしえより「熊野詣で」「伊勢詣で」などで旅人が往来した熊野古道は「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録されました。こうした豊かな自然、歴史文化を地域の資源として活用するなかで、「海の碧 山の緑 あふれる 情熱 東紀州 おわせ」を目指してまちづくりを推進しています。

【尾鷲市】

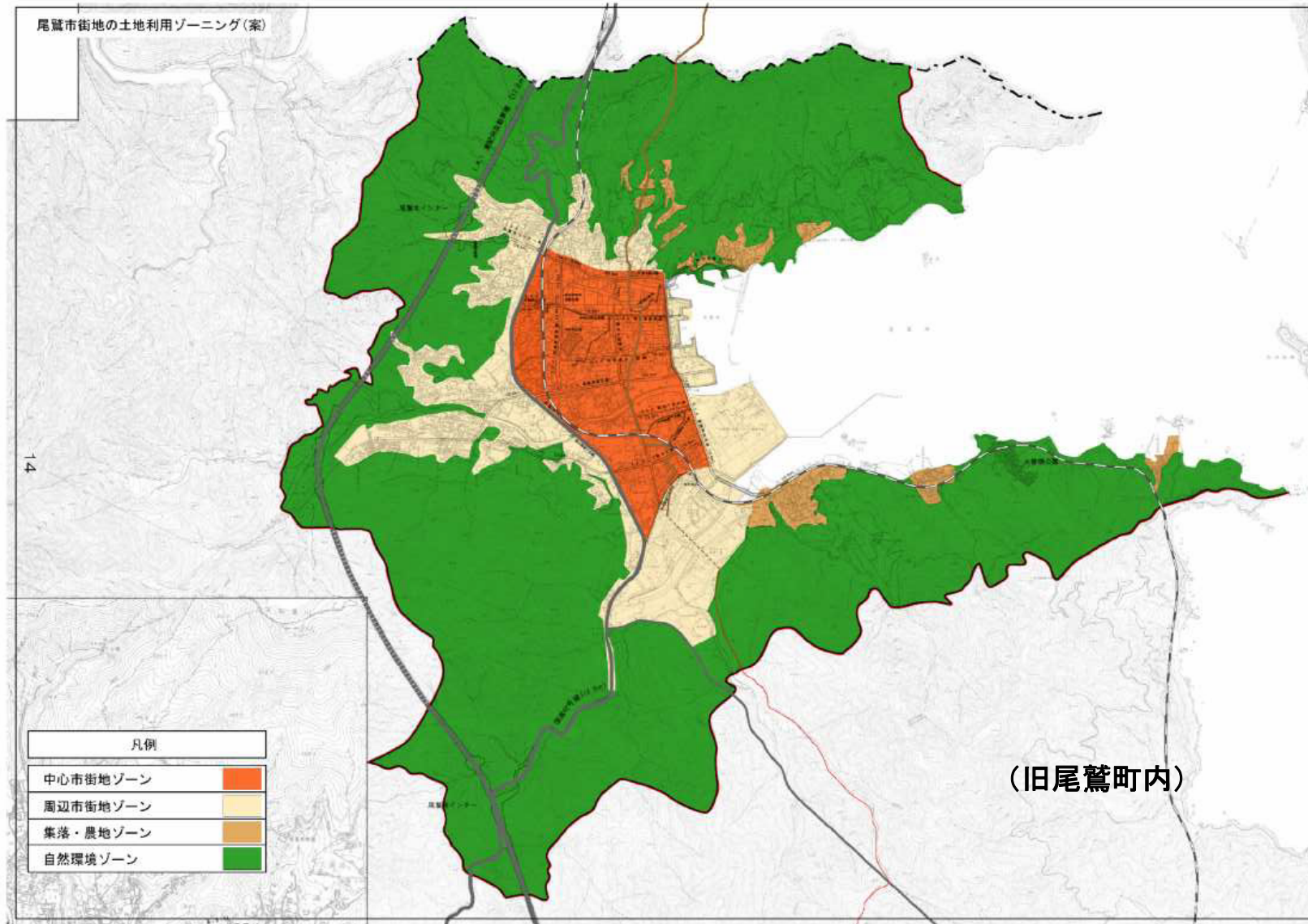


○土地利用の現状（住宅地、中心市街地等）

- ・本市は市域の大半を森林が占め、平坦地は市域の1割にも満たないという状況にあります。
そのため、都市計画区域は旧尾鷲町内と賀田・曾根区といった比較的平坦地の多い地区のみであり、それ以外の集落や山林は都市計画区域外となっております。

○まちづくりの方向性

- ・尾鷲市域全体・・・新たな街づくりに併せた市街地の整備促進と自然環境の保全
- ・都市計画区域内・・・尾鷲市の中心的な市街地の拠点づくりと活性化の促進に向けた地域地区の配置
- ・都市計画区域外・・・集落の遊休地の活用、公共施設の利用転換と自然環境の保全による元気なまちづくりの推進



津波被害想定と課題

【尾鷲市】

津波被害想定 (H23.12三重県公表)

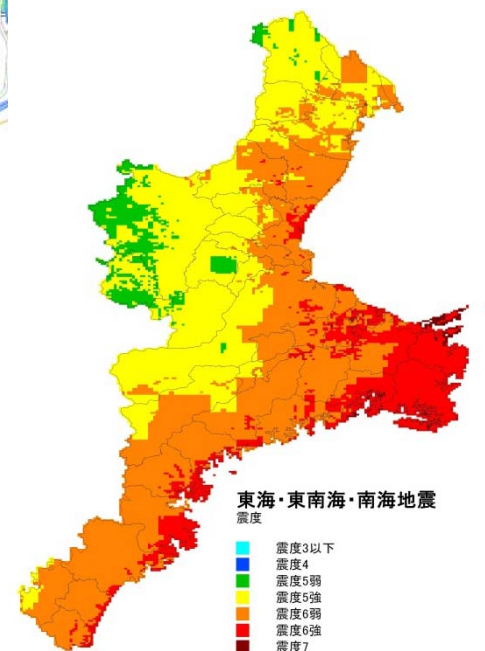
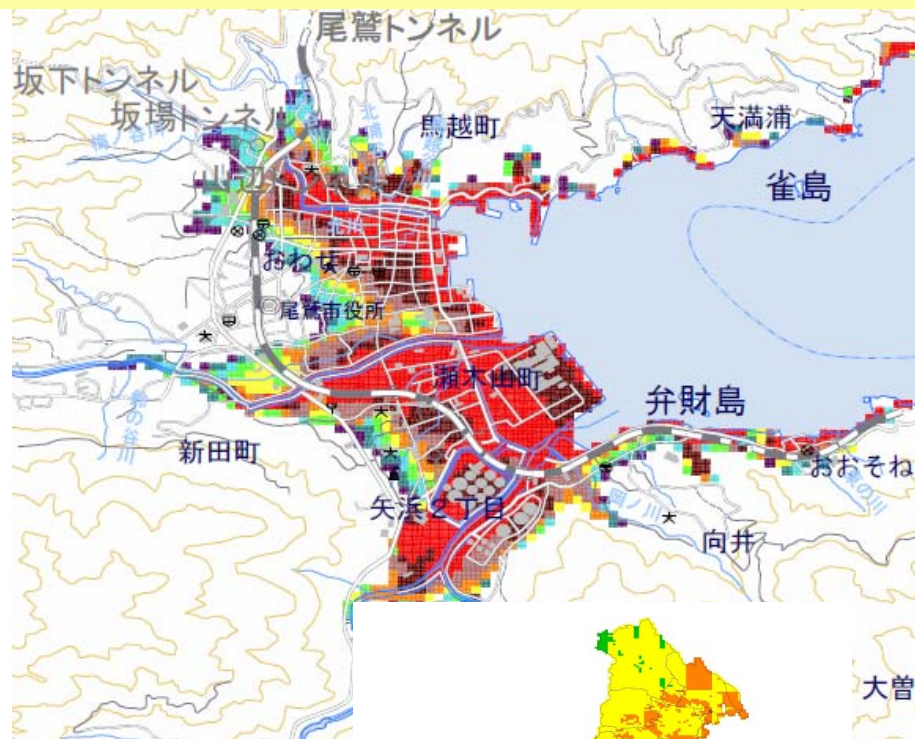
- ・ 尾鷲 → 最大津波高 10.66m
- ・ 九鬼 → 最大津波高 11.06m
- ・ 三木里 → 最大津波高 13.26m
- ・ 賀田町 → 最大津波高 12.94m
- ・ 最大津波到達までに要する時間
10～19分

地震動被害想定 (H17.3三重県公表)

- ・ 予測震度 震度6弱

課題

- ・ 東日本大震災を教訓とした、津波対策の強化・推進
- ・ 学校施設の耐震化促進
- ・ 過疎高齢化、地域コミュニティが希薄化する中での自助・共助の確立



地震・津波対策への取組

【尾鷲市】

・ 住民主導型避難体制確立事業

住民が主体となり地域の避難ルールや防災体制を確立していく取組

・ 防災情報相互通報システムの構築

防災行政無線と併用した防災情報の輻輳的な提供及び防災情報の収集
次世代無線LANシステム（映像収集、IP電話）・防災行政無線アンサー
バックシステム・防災情報メール配信・防災情報総合電話サービス

・ 孤立対策事業

非常時用備蓄品整備（食糧・水・毛布・簡易浄水器・簡易トイレ・保
温ブランケット）・衛星携帯電話配備・救援表示シート配備

・ 自主防災組織等の育成強化

地域防災力向上補助金の創設・住民総ぐるみの防災訓練・防災職員が
出向いての防災講話や訓練指導など

・ 避難路等整備事業

夜間避難に備えた市内防犯灯の無停電対策・避難路の安全対策や拡幅

・ 学校での防災教育推進

群馬大学片田先生を本市防災危機管理アドバイザーに委嘱し、総合的
な防災対策へのアドバイスや教育現場での防災カリキュラムの作成を
進めている。



住民主導での避難ルール作り



住民手作りの避難路



市民総ぐるみ避難訓練